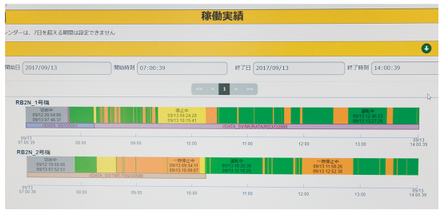
隆機工業 株式会社

▶対 象 類 型　精密加工
▶事 業 類 型　高度生産性向上型　IoT
▶主たる目的　生産性向上

5面加工機である高速マルチセンタの導入とIoT化の推進による生産性の向上









1	2
	3
	4

1／今回の事業で導入された、大型ステージ付高速5面加工機。大型・長尺製品に対応するだけでなく、仕上げ工程の内製化に伴い顧客にとっても発注を一社にまとめられるワンストップ受注が実現した。 2／5面加工機のオペレーターは常時3名体制。従来は溶接・前工程にのみ注力していたが、後工程のことを考えて作業することにもつながった。 3／PCからは常に機械の稼働状況を閲覧・管理でき、作業状況の改善を図れる。 4／トレーサビリティ対応を可能にした、ネットワークカメラシステム。IoT技術を用いて様々なデータを活用することで、市場競争力も強化された。

溶接作業から機械加工まで、社内一貫生産体制を構築。

精密製造ライン用機器部品や繊維機械部品など、溶接加工を要するあらゆる製品を40年以上にわたって製造してきた隆機工業。対象とする素材は鉄、ステンレス、アルミなど多岐にわたり、高度な溶接技術が求められる工程を丁寧に人の手で行ってきた。しかし一方で、仕上げの機械加工の工程は外注に頼る比重が大きく、納期や仕上げ品質のコントロールが難しいことがこれまでの課題だった。

今回の事業では、受注案件の増加により高精度の品質を要望される状況を受け、大型ステージ付高速5面加工機を導入。これにより仕上げの機械加工の工程が可能となり、部品製造から製品完成までの社内一貫生産体制を確立した。

また、並行して社内ネットワークの整備とIoT化にも着手。導入した機械の稼働状況の管理に加え加工条件を導き出せるMT-Linki（稼働管理ソフトウェア）を設置したほか、ネットワークカメラを用いた製造履歴の録画を可能にした。昨今厳しくなったトレーサビリティに対する要求に応えることは、顧客の信頼向上にもつながった。機械加工工程の内製化とIoT化を組み合わせることで、社内一貫生産をよりスムーズにする体制が整った。

注目すべき成果

外注依存を脱却し、全体のリードタイムを大幅に短縮。

後工程を外注する際に従来かかっていた納品、確認の時間を省き、30%以上のリードタイム短縮を実現。社内で工程を完結できることにより、受注段階での顧客への納期回答も迅速になった。

事業活動の付加価値

今回の導入が新規案件受注の呼び水に。

本事業を通して評価された点に、新しいことに取り組む姿勢も挙げられる。製造管理工程の一貫性のアピールと製品に対する信頼性の向上が、新規受注案件の増加にも大きく貢献している。

今後の展望

技術力のさらなる向上と、人材育成に力を。

同じ機械作業においても、扱う人によって仕上がりが異なる。IoT化の導入整備によって「見える化」した機器の稼働状況、さらにネットワークシステムのデータを活用し、加工者の技術力向上、人材育成に努めていく。

ものづくり専門員から一言

補助事業の高い波及効果で、付加価値ある展開を。

同社は、当初の課題であった社内一貫生産体制を確立し、要望される多品種化・高品質化・短納期化をクリア。生産用機械器具製造メーカーとして希少価値のある「一元管理化」という優位性を獲得することができた。同社が培ってきた技術力とIoT化の融合が、さらなる展開につながることを期待している。

こんな会社です！

溶接を得意としながら、トータルプロデュースの企業へ。

当社は、元々溶接を得意とする会社です。今回の機器導入により、溶接技術を基にして機械加工まで一貫生産できる、トータルプロデュースが可能になりました。また機械加工という業務の幅が増えたことで、働く社員にとっても興味の選択肢が広がりました。今後は「隆機に入れば自分のスキルが伸ばせる会社」と思ってもらえるような会社にしたいと考えています。そして今まで、仕事を受ける上での力不足によって10のうち3から5しか受けられなかった部分を、設備の拡充や人の育成によって6や7にしていきたいと思っています。



代表取締役
小谷 哲治さん



設立以来同社が磨き上げてきた、溶接の技術。設備の充実に甘んじることなく、高い技術力の標準化を目指す。



本社

隆機工業 株式会社

代表者／代表取締役 小谷 哲治
設立／昭和48年（1973年）2月
資本金／1,000万円
従業員数／71名
事業内容／生産用機械器具製造
〒918-8176 福井市三十八社町32-25
☎0776-38-3156 FAX.0776-38-3159
E-mail tetsu.o@ryuki-kogyo.co.jp